

令和6年度 校内研究推進について

R6年度 研究主題(案)

「未来に向かって、かかわりの中で自ら学び続ける生徒の育成」
～生徒が学習の意義や魅力を感じとることで、分かる、できる喜びにつなげられる授業づくり～

○R6年度 主題設定の理由

目まぐるしく変化し続ける現代社会。生徒一人一人が、自分や社会の将来を見据え、多くの人やものとのかかわりのなかで、主体的に学び続ける態度を育てたいと考え、本主題を設定しました。

生徒一人一人が授業を通して学習の意義や魅力を感じとり、それぞれの目標に向かって自信をもって学び続けられるように、各教職員が日々研鑽を積み、新たな技術を活用していきましょう。また、互いに助け合い、学びあう教職員集団「チーム仁多中」を目指しましょう。

今年度はこの主題を達成するために、各教科や領域において、教職員の協働やICT機器の更なる活用等、個別最適化されたユニバーサルデザイン教育(UDL)を意識した授業づくりにも力を入れていきたいと考えています。

2 研究内容

①研究主題の達成のために、授業実践を積み上げる

「分かる授業」「力のつく授業」「学び合い・教え合う授業」

…ICT機器の活用、自分の強みを活かした指導、新たな指導法の獲得、教職員の学び合いの姿勢

「主体的・対話的で深い学び」となる授業…(授業実践研究研修や、学び合いの機会の設定)

「深い学び」がなされているイメージとしては、

○対話を通して、新しい価値観に出会うことによって思考が深まる。

○対話によって出た多様な意見や集めた情報を、整理・分析することで、探究が深まる。

と、いったものが考えられる。仁多中学校として「主体的・対話的で深い学び」が具現化された姿はこのようなものであるといった具体的な例を提示し、ポイントを絞ってねらいを達成していけるよう、研究部として今後、提案をしていきたいと考える。

②各教科、領域において「ICT」や「学校図書館」を活用し、自ら学ぶ力を高めていく。

○ブックPCに関する職員研修等を実施し、活用を推進していく。(R6年度当初～夏休み中に実施)

○「学校図書館」の活用を積極的に進める。(R6年度初めに教員研修を行う)

子どもたちが毎日楽しく学べる学校 教職員がやる気を持って働ける学校

③「個に応じた学び方の提案」、「UDを意識した授業づくり」に力を入れた授業実践。R6通年

○板書の構造化・視覚資料の充実等、配慮を要する生徒を意識した授業づくり

○読みやすいフォームや活字等に配慮したテストの作成を意識する。

○個に応じた課題の出し方。 等

4 学校評価を受けて、今年度取り組むこと

○自学ノート(ウォームアップノート)の指導をより充実させていく。

(年度初めと年度の半ばにガイダンスや形成的な評価やアドバイスを入れた指導のための学活の時間を設け、学年ごとの実態に応じためざす力の育成につながる指導を行う。)

○学力調査の分析と指導の手立てを具体的に立てる。(学び直しシートの活用…各教科で対応)

○保護者へ生徒が学習に取り組んでいる姿を見てもらい機会や情報発信の機会を増やす。

(学習公開日、HP、情報奥出雲等)

○総合的な学習の時間で作成した資料やデータを記録として残し、活用できるようにする。

○新聞や手応えのある読書へ生徒が向かっていけるようにする。

○図書館を活用した授業に継続して取り組む。

5 その他

①研究に関わる掲示物・備品等

〈掲示物〉

学習の心得

○チャイム前着席を徹底しよう

○授業の挨拶を礼儀正しくしよう

○正しい姿勢で授業に臨もう

○返事や発言をはっきりとしよう

○相手の顔を見てしっかりと聞こう

② 授業における「めあて・振り返り・まとめ」について

③ 学習の仕方・評価の方法(シラバス)について

オリエンテーションの際に、学習の仕方や評価方法を生徒に伝える

④ 提出していただくものと提出締切

「シラバス・評価のポイントまとめ」 4月26日(金)

「教科・領域全体計画 教科・領域年間指導計画」 4月26日(金)

「学年・学級経営案」 5月10日(金)

⑤「見せら会」について

今年度も、学期に1回(2週間程度)合計3回機会を設定する予定です。